



95年 1月25日

No. 106

東京都腎臓病患者連絡協議会（東腎協）
事務局・☎171

郵便振替口座

☎ FAX

昭和四十六年八月七日第三種郵便物認可
SSKA通年二六九九号
一九九五年一月十二日発行
毎月六回一の日
三発行



恵比寿・ガーデンプレイス（写真・樹永照也）

●おもな記事●

- リレー・エッセー…………… 2
- 今年の抱負—常任幹事に聞く…………… 3
- 仲間のたより…………… 6
- 会員さん訪問 (55) 高橋伊知郎…………… 10
- 東腎協活動のまど…………… 14
- 腎臓移植・角膜移植キャンペーン…………… 16
- 東腎協会員交流会は大運動会を開催…………… 19
- 私のふるさと⑫ 白神慶生…………… 22

リレー・エッセイ

糖尿病の悪化から透析へ

高中醫友会 鈴木 勇



「店長、社長さんからお電話です」

私が、不二家の店長をしていた今から三十年位前のことです。血糖値が非常に高いのですぐに検査入院（実は糖尿病の検査入院）の



常任幹事の仲間たちと（後列右から2人目が鈴木さん）

ため虎の門病院へ入院しなさい、との連絡でした。

社長指示でもあり、虎の門病院内分泌科の沢野先生の診察を受け、即日入院。十日間ほど本院にて静養（実はそのつもりでしたが）毎日毎日ベッドサイドで看護婦さんにより糖尿病とは、食品交換表の見方等の勉強、勉強で忙しい毎日でした。

その後、同病院榎ヶ谷分院に移り、二週間の教育入院となりました。当時の私の体重は七十kgもあり、教育入院中は先生、看護婦さんの話しを守り、退院時は六十二kg、血糖値も朝食前一二〇前後に下り退院しました。しかし、病名は境界型糖尿病と診断されました。食事療法を守ること、薬、注射の必要はなく仕事は今まで通りでよいとのこと

でした。

が、不二家の店長職と甘いものとは縁を切ることが不可能なため、本社へ転勤。その後、転職を

して現在の職業につきました。甘い物とは少しは遠くなりましたが、仕事が忙しくなるにつれて、今まで守ってきた六十二kgの体重と食事バランスが（特に昼食時）崩れ、体調を崩し、近くの医院で診察を受けました。ドクターは私の顔を見ななり、看護婦に命じて血液検査、レントゲン、心電図、尿検査等一通り済ませると問診するでもなく、三日後に来院するようにとのことので放り出されました。

このヤブ医者奴と怒り、他の病

院の診察を受けました。結果は同じことで糖尿病の悪化（要注射）、腎不全、糖尿病性網膜症、高血圧とのことで、またもや即入院を言い渡されました。

大病院に移りましたが、時すでに遅く透析導入という結果となり、今日に至っております。

しかし、順調に今日に至った訳ではなく、網膜症の悪化、眼底出血の繰り返し、透析に通院するにしても白い杖のお世話になり、大変苦労しました。しかし、幸いに手術に成功しました。現在は、視力も眼鏡を使用して〇・八は見えますが、視野が狭く人混みの中を歩くのがががてです。

毎日を体重が増えすぎないように最大の注意を払っております。中一日で二kg以内、中二日で三kg以内が目標で、ほぼ達成しております。

今年の抱負—常任幹事に聞く

会長 竹田 文夫



①国分寺南口クリニック

②十二年

③東腎協も今年で二十三年を迎えました。大きな木に育ちいろいろな活動の成果の実がなりました。一方落ちそうな実や枝もあつたが、皆さんの支えて保ち、これからも栄養を与え益々大きな樹になり立派な活動の実がなるよう皆さんと盛り上げたものである。

事務局長 森 義昭

①人工腎臓虎の門・高津会

②十八年六月

③事務局を預かる立場からは昨年、草間事務局次長が亡くなられ、手薄になった事務局体制を、なんとか会員の期待に応えられる



事務局にしていきたい。活動の中では特に都庁を中心に、各方面への要請活動に力を注ぎたい。

副会長 一ノ清明

①東高円寺フェニックス会

②二十四年五月

③将来、四人に一人が六十五歳以上と言う高齢化社会が来ると言われていますが、透析患者も高齢化が進んでおり、合併症を持った人も多く社会的入院患者が増えています。要介護患者問題を少々勉強してみたいと思います。

副会長 糸賀 久夫

①松和患者会

②二十二年一月

③「光陰矢のごとし」です。とは言っても「猪突猛進」のあまり

脱線しては、命がいくらあってもたりません。一日一生の思いでこの一年も生きぬきたい。医療環境が増々厳しくなります。東腎協をより大きく力強いものにしりたい。

副会長 高橋勇一郎

①西新井病院腎友の会

②十二年

③透析が長くなり様々な合併症で体力の衰えが感じられ、気もめいりがちになる。ここで自分に妥協して楽なことを考えたなら進歩しないだろう。今年は甘えと、本来の意味での無理との区別を意識して地に足がついた活動がしたい。

副会長 堀 和正

①上野しのばず会

②十年

③昨年は、役員の草間、本間、中田氏の死去、診療報酬の一部マルメやB型肝炎による死亡事故等。でも、高速道路、入院給食の助成に気分転換。今年、会員拡大とニュース制作で汗をかきかか

①患者会名

②透析歴

③今年の抱負

副会長の堀です。今年も宜しく

副会長 柳 光夫

①サポテン会

②十五年十月

③新しい年を迎えることが出来、本年もしっかり生きて行こうと心に誓っている。今年も国家予算の大幅歳入不足が言われている。その厳格さが弱者切り捨てに成らぬよう微力ながら自分の為にも力を尽くしたいと思う。

会 計 井上 寧枝

①吉祥寺クリニック腎友会

②六年七月

③恙なく新春を迎えましたことに感謝しております。今年も前向きで力一杯生きていこうと思っています。皆様の心の中にこういふ人がいたと一片の想い出がいつまでも残る様な活動をして行く積りでです。

常任幹事 鈴木 勇

- ①高中腎友会
- ②五年六カ月
- ③新年を迎え会員の皆様のご健



常任幹事と青年部の合同忘年会

勝をお慶び申し上げます。
今年こそと期待をかけた昨年も
遂に不発の域を脱することなく不
発に終わりましたと感ずるのは私だ
けでしょうか？（軽貨物運送等

経営）本年は、東腎協の会員拡大
板橋区腎友会の成功の為に最大の
努力を傾注したく存じます。御指
導下さい。

常任幹事 東野 榮夫

- ①あけぼの友の会
- ②十八年三カ月

③明けましておめでとうござい
ます。今年も、東腎協にとりまし
て一致団結の年であり、今まで以
上に頑張りたいと思います。去年、
草間さんが急死し編集体制が整っ
ていませんが、より良い「東腎協」
を作って行きたいと思えます。

常任幹事 森田 廣明

- ①森山病院友の会
- ②十四年八カ月

③今年の抱負と言っても七年度
については母体友の会役員推選及
び総会の承認を得ておりませんの
で記すべきか？許されるなれば
微力ですが、先輩役員の方々のご
指導を受け乍らあたえられた任務
を足手まといにならない様頑張る
事。

常任幹事 山田 秀行

- ①今尾医院腎友会

②十一年

③医学の進歩を期待しながら
も、週三回の透析生活だけで過せ
る事に感謝しつつも、合併症や高
齢化問題等、取り組む事が多くあ
ります。少しでも良くなるよう微
力ながら、よりよき社会福祉を求
めて行動して行きたいと思つて

常任幹事 吉田 英和

- ①調布東山病院腎友会
- ②九年五カ月

③明けましておめでとう。旧年
秋口より体の調子をくずし、皆様
に大変ご迷惑をかけました。今年
は東腎協のため全力を尽くしま
す。

機関誌「東腎協」の編集委員と
して、今年も患者中心になるよう
心掛け、より楽しく読まれる機関
誌に編集していくつもりです。

常任幹事 オブ 佐々木利喜栄

- ①森山病院友の会
- ②十年二カ月

③先輩の皆様方に見習って、色
々な事を吸収し、勉強して行きた
いと思えます。
よろしく御願ひ致します。

今年もよろしく
お願いします



迎春

常任幹事一同

常任幹事 金子 智

①松和患者会白支部
②十六年
③私は、仕事の関係でなかなか
会議や行事に参加出来ません。し
かし、原稿書きや報告書の作成な
ど時間の調節が可能なのは、積
極的に行うようにしています。
自分の出来ることから始めるこ
とが大切だと思えます。

常任幹事 軽部 和之

①立川相互腎クリニック希望会
②九年一カ月

③昨年までは、事務局に手伝
いという気持ちで不定期に通って
おりましたが、今年からは、週に二
日程度定期的に通うつもりで
おります。それに伴い、色々な方面
の勉強をしなければと思っていま
す。

よくしくお願いします。

常任幹事 川島 桂輔

①三鷹北口病院腎友会
②六年四カ月

③高齢化社会の進む中、福祉八
法の改正により福祉行政の権限が
都より市区町村へ移り、地域福祉

計画が策定された今、ますます地
域福祉活動に積極的に取組み、透
析患者の高齢化、要介護者の増加
の現状を訴え、施策に反映させる
運動を展開したいと思えます。

常任幹事 北爪 勇

①湯島腎友会

②七年

③幸せへの新しい出会い
こんなに素晴らしいことはない。
でも突然に、別れをつける時もある。
一つ一つの「出会い」を大切
にしていきたいものである。

常任幹事 木村 妙子

①しのばず会

②二十二年五カ月

③十二月の常任幹事会で専従と
いう重責を担った。力を尽して
東腎協のために行動したい。しか
し能力の問題もあり、体力にも自
信がないけれど一歩一歩確実に歩
んでいきたいと思う。

常任幹事 久保 正業

①松和患者会西新宿支部

②二年半

③昨年初めて常任幹事を仰せつ
かり、透析も始めたばかりでもあ

り先輩諸兄の皆様方についてお手
伝いをしてまいりました。本年は、
少しでも会員方々のお役に立つよ
う、運動を継承し、福祉切り捨て
時代に抗してゆきたいと存じま
す。

常任幹事 小泉 佐内

①杏林腎友会

②二十年

③昨年は、東腎協役員を一ヶ月
の間に、三人も失い、突然の悲劇
に心を痛めました。又、三人の存
在の大きさを改めて感じさせられ
た年でした。

そして十月には、透析患者が劇
症肝炎で亡くなった事がありました。
現在、問題となっている包括
化の犠牲となったのではないかと
いう疑念を拭い去る事は出来ま
せん。今年は、何としてもこれ以
上の犠牲者を出してはならない
と、強く思っている次第です。役
員は勿論、患者一同、一丸となっ
て頑張り、難局を乗り切れるよう、
これを今年のテーマしたいと思います
です。いまだに無関心な患
者に、東腎協へ目を向けて頂ける
よう、普及活動に力を入れたいと
思っています。

ななまの たより

会員の皆さんから原稿を募集しています。うれしかった事や悲しかった事、苦しかった事などの闘病記、ひとり言やカット、写真などなんでも気楽にかいて事務局へ送って下さい

ハワイへの 透析旅行記

大山腎友会

葛西 重夫

人工透析をしているのに外国旅行なんてとんでもないなどと日頃考えていましたが、親切に勧めて下さる方がおられ、家内同伴も結構とのことなので不安を残しながらも行く決心をいたしました。結論を先に申し上げますと案ずるより生むが安しといえますが、最新式の機械で快適な透析が受けられ、またハワイ（オアフ島）は皆様もご存じのように入正に南国夢の島、空はあくまで青く、海は果てしないマリン・ブルー、さわさわと心地よいヤシの葉ずれ、本当に身も心も洗われるような感じます。さらに日本食には事欠かず、果物も美しくショッピングまた楽し。事情の許す方は是非ハワイ旅行をお薦めいたします。しかし、何と

いっても気掛かりなのは透析の事でした。これから旅行される方もこの点がいきさかごた。



ハワイの透析施設で



東腎協の仲間たちと

心配のことと思いますので、ハワイの透析について少々説明させていただきます。透析はインターコンチネンタル・メデイカル・サービスの付属センターでホノルル市内にあるアロハ透析センター（旅行者専用）で行いました。この病院は二十人を同時に受け入れる設備がありますが、グループ七人（大山腎友会四人他の腎友会三人）が治療を受けた時は患者は私達だけでした。日系の通訳（女性）がおり、意志の疎通には不自由ありませんでしたし、帰りにお土産を貰う程仲良くになりました。

さて透析ですが、先ずシャント側の手を液状石鹸液で良く洗い、計量（ポンドではなくキログラム）、ベットはリクライニング式椅子（床屋さんの椅子の感じ）患者の服装はバジャマでもそのままでもOK。穿刺の前に起立して血圧を測り、後はその血圧帯を、またまま自動のかつ三十分毎に計測。血圧、脈拍等のデータがデジタル化され、またその変化がグラフで透析機にモニターに明示されるようになっていきます。機械もスタンド式で大きく透析液も各機毎にハイカーボネート透析とアセテート透析の双方ができ

るとのことです。穿刺も終りの血液の返しも私が今まで受けていた方法よりも、かなり省力化されているような感じでした。軽食（ご飯とおかずは鶏肉野菜こんにやく等の煮付けなど）とお茶が出たりお互いに冗談を言い合ったり、看護婦と片言の英語で話したりしての内に終了。四時間が実に短く感じました。費用は一回二六〇ドル。私達はこのセンターに二回お世話になりました。また日本に帰ってからの保険の支払い申請書も作ってくれます。以上の通りで事前の心配は全く杞憂に終わりました。

ところで、観光の方ですが四泊六日の短い旅行でしたが、メンバーに恵まれた本当に楽し過ぎてしまいました。記憶に残るのは、ホノルル空港到着時にポリネシア系美人に奇麗な花のレイをかけて貰い、ほつぺたにチュエットとされたこと。あくまで明るいワイキキの海岸。ホノルルから約二五〇キロ離れたカウアイ島の一日観光（シダの洞窟・ワ

イメア溪谷・潮吹き岩等)或いは豪快なシイフードやステークの鉄板焼き。ご婦人方の喜んだショッピングなど楽しい思い出がつきません。またホテルがJTBのバック旅行にしては高級のヒルトン・ハワイヤン・ヴィレッジ(四棟二五〇〇室)で室もなかなかのもの。住み心地は正に快適でした。

滞在四日間の天気も快晴と良い事づくめでしたが、日本とハワイの時差は如何ともし難く、何せ成田空港を夜八時に出発、ホノルル到着が同じ日の朝という具合で少々の変調をきたしたのも止むを得ないことだったのかも知れません。しかし、同行九名無事に帰着。機会があればもう一度訪れたいと考える程印象深い旅でした。

ハワイ旅行で健康に自信が

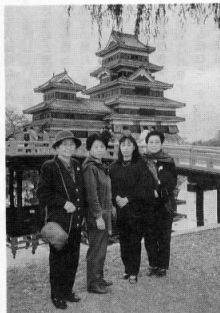
湯島腎友会

北瓜 勇

ハワイ旅行といっても時間差にはまいった。草間氏の七



ワイキキビーチ



松本城(右端が亀井さん)

七忌の法要の時に中板橋駅から寺に着くまでの道の長かったこと、その時すでに右足の腰からふくらはぎが痛かった。いつものことで、そのうち痛みは止まるだろうと思っていたが、旅行中歩き過ぎたために、今思うと悪化してしまったのではと思った。水の中では泳ぎでは痛みはないので大変助かった。海の透明度では伊豆七島の方が良いのではないかと思った。水の温度差はハワイの方が一年中の暖かさのせいか水温は高く、一年中泳げるという。なんといいってもワイキキビーチ。ヤシの木とマッチした風景が一番。太陽が地平線に沈

む光景は絶景の何物でもない。食事も日本人観光客が多いので御飯コースとパンコースがあり助かった。私たち透析患者の一番の問題は、透析施設だと思ふ。その点、旅行会社の計らいですばらしい透析施設だった。日本語の出来るカウンスラーと看護婦さんで、チームが組まれて安心して透析してもらった。

今回の旅行で私としては、健康に自信が持てたかなと思つた。楽しい旅行だった。楽しかった旅行

新小岩クリニク

亀井ミツ江

月日の立つのは早いもので私も透析を始めて二年半になりました。最近はお身に健康をとり戻し、透析日のリズムにも慣れ、安定した生活が送れるようになりました。

過日、院長先生より一泊や二泊は大丈夫だから出かけるさいと言われていた矢先、近くの信用金庫の団体バス旅行

にさそわれ、同じクリニクの友人達と四人で一泊二日の大町温泉の旅に参加いたしました。久しぶりの一泊旅行で透析日を変更していただいたり、バスに酔わないような注射をし、薬を頂き、いろいろな配慮をしていただき感謝しての旅行でした。

幸せにも小春日和の好天にめぐまれ気温も高く暑いくらいでした。

諏訪湖や国宝に指定されている松本城やわさび田を見学し、眼前にはアルプスの山々が晩秋の紅葉に色どられ、美しくやさしく私達を迎えてくれました。宿は黒部観光ホテルで私共四人が一部屋になり風呂も三回入り、楽しい会話に花を咲かせて一夜を過ぎました。そして翌朝、昨夜の雨もあがり、すがすがしい朝を迎えました。

帰路は、信玄の里の宝石庭園を見学し、恵林寺からワイン工場で体重を気にしながら試飲をし、車内で水戸黄門のテレビをかけたいただいたのですが、それは子守唄に聞

え、みんなで眠ってしまおう始末でした。そして、予定より早く帰宅することができました。

透析を始めた頃は、もうどこへも行けない、食べられない、飲めない、マイナス志向でしたが、今は心にも余裕が出来、こんな自分でも人生を楽しく明るく元気で生きたいと思えるようになりました。

出来上った写真を見ながらまた機会があったら行きたいねと話しています。

病院もいろいろだ

須田クリニック

白井 次郎

右脚の手術をするに当たったが、どうも悪性らしく二ヶ月はかかるという。外科病院ならどこにもあるが、私の様に透析も出来る病院はあっても近いのは満床で、家から大分遠いがA区の病院となった。

今年は何年にもない猛暑なのに病院内は寒い。真夏にバジヤマの上にカーテンを着た。透析室は物凄く冷房が利



きすぎて寒い。

いままで通院していた病院は椅子でクッションも軟らかいのに、ここはベッドでその硬いこと少々腰の骨に異状がある私はすぐ腰が痛くなった。テレビも置けないし本も読めない四時間となった。入院患者は九時半から、病室から透析室まで看護婦さんでなくて、雑用一切やっているヘルパーと称する中年の女の人だけが車椅子を押してくれる。私だけじゃなくて視力のない人も一緒だから大変だ。

ベッドに横になったものの、なかなか穿刺来ない。室内を見ると青い色のユニホーム姿のヘルパーのインスタントナースが、ウロチョロしているだけで白衣の医師も見えない。三人位で穿刺をしているらしい。だから早くても

二十分は待たされる。通院していた病院は、時間になると院長、医師たちが五人位待機しているから早い。雲泥の差だ。それに看護婦さんも少ない、経営の関係とは思いますが、看護婦は治療に関することはやるが他の雑用は一切手を出さない。

——これをすいませんが——と頼むと「それはヘルパーさんに頼んで」との返事が返ってくる。

外来患者の透析室は分らないが、入院では水はアイスマーカに百円入れて買う。ティッシュペーパーを透析室へ持参せよとのことどうもミミツチイのには呆れたし心が冷たくなった。計量するヘルパーと称す少女は患者のドライウエイトのリストを持っていないから唯、重さを言うだけだから年寄りが暗算となる。

さて回収がまた手取取る。除水済の小さなベルが鳴ってもすぐ回収に来ない。早くこの板の様なベッドから逃げたいのに。止血は手で押さえるのは結構なのだが、看護婦じ



表紙のことは
渋谷区・恵比寿ガーデン

やなくてヘルパーだ、ガーゼで穿刺した所を中心にしつかい押さえれば短かい時間で済むの。唯、押さえるだけ時々飽きるので余所見をするから当然力が弱る。ひどい時は三十分も止まらなかった。このヘルパーに止血のテクニクを教えるのかと思っ

意してヘルパーが迎えに来るのだが、これまたなかなかおいでにならないし、ナニを間違えてか車椅子を持って来ないから、また待たされる。二時すぎ病室へ戻ると、冷房でよく冷えたカレーが置いてある。冷たいカレーなんて食べられませんか、以前女子医大へ入院したことがあったが、こんな時は看護婦さんが電子レンジで温ためてくれたのに。

レイス

恵比寿にすこいところができたというので、行ってきました。最近までは、サッポロビールの工場しなくさびしい感じの街でした。ところが、今では駅から「スカイウォーク」という動く通路ができ、デパート・映画館・多目的ホールなどがあり、にぎわっています。

残念だったのは、展望レストランから撮れなかったことです。周辺からせめて映像にしてみました。

(樹水照也)

体験的5分間クッキング

⑩

冷蔵庫の残り物を利用して

冷蔵庫の中の残り物を見付けた時、ちよつと手を掛けるとおいしいものに変身して、得をしたような気分になります。

☆かまぼことえんどろ

かまぼこは3ミリくらい厚さにきり、さやえんどうは筋を取っておく。水、砂糖、醤油をさつと煮立て、かまぼこえんどろを煮てご飯にのせる。煮汁を大匙2杯ぐらいかけ、もみ海苔を振りかけて食べる。

竹輪や、油揚げ、厚揚げなども同じ様にして食べるとおいしい。

☆鱈の干物のお寿司

鱈の干物を焼き、皮、骨を取って身をほぐしておく。ご飯に砂糖、酢で味をつけ、鱈の身のほぐしたものを混ぜる。大葉があれば、二、三枚刻んで入れ、また、いり胡麻があれば振り入れても、いっそうおいしくなる。

これは塩鮭や、かますの干物を焼いたもので作っても良い。スー

パーで買った鱈の蒲焼を刻んで混ぜても、目先が変わったおいしいお寿司になる。いり胡麻は少しでも入ると味が良くなるので、多目に用意して冷凍庫で保存しておく

くと便利である。

☆人参サラダ

人参は千切りにしてさつと茹でて、冷水にとつて冷ます。(これでカリウムも少し減るはず)酢、醤油、サラダ油、砂糖少々でドレッシングを作り(市販の和風ドレッシングでも良い)、よく水気を切った人参にかける。これにいり胡麻を振りかけてもおいしい。

☆ポーク・サラダ

薄切りの豚肉を茹で、冷水にとつて冷ます。薄く切った大根、きゅうりを塩でもみ、水洗いをして、水気を切る。豚肉と一緒に人参サ

ラダに使ったのと同じ和風ドレッシングであえる。刻んだ大葉、いり胡麻をまぜ合わせる。肉の量は適当で良い。多ければぜいたくな一品になるし、少なくてもさつぱりしておいしいサラダになる。

栄養士から一言

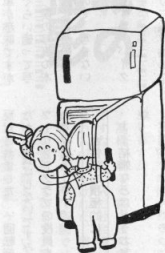
(小島)

☆かまぼこえんどろ

かまぼこは単独で使用しても、他の材料と組み合わせてもよく、味がなじみやすいという利点もあり、えんどろの特徴も味わえる丼物となります。

☆鱈の干物のお寿司

鱈は良質の蛋白質と脂質(不飽和脂肪酸)が含まれております。そしてビタミンAの多い大葉が加



カット・山中知子

われば栄養面からもよくなるでしょう。ただし干物は酸化しやすいので、このようにまめに残物の処理するのも良策と思います。

☆人参サラダ

人参は脂溶性ビタミンであるAを多く含みます。Aは油と一緒に摂取した方が吸収率がいいのでサラダ油等を加えるのは良好だと思います。

☆ポーク・サラダ

豚肉等に含まれる飽和脂肪酸は血中コレステロールを上昇させる要素があるので、茹でてから冷水中に入れることは脂肪が少くなる利点とサラダの特徴である、さつぱりした味が強調されることで一石二鳥と思います。

(八木由紀子)

会員さん訪問

第55回

高橋伊知郎さん

よく「透析になると人生に対し消極的になる」という言葉を聞きませんが、東腎協の事務所に遊びに来る人で、積極的な会員さんがいるよという森事務局長の言葉どおり、ゲーム大会のあとインタビューした高橋伊知郎さん（四十五歳・個人会員）はオールレザーのライダー姿で、ヘルメットを手に登場です。

——透析前はどのような状態でしたか。

高橋 二十一歳頃から発病はしていたのですが、病院へ行ったり、よくなると通院をやめたりしていました。五・六回は入院しました。決まった病院はなく、気をつけなければ駄目と言われていましたが、透析になっても仕方がない生

活でした。

透析になってから五年と六カ月です。昭和六十一（一九六六）年秋頃、もう慢性腎不全といわれていました。今、体調は絶対調です。信仰していますから。透析は火木土の午後で昼まで働いています。

会社の理解のもとに

お仕事はずっと続けてこられたようですね。

高橋 会社の理解がありますので、月給制だし、ボーナスも普通にもらえます。プレス関係なので身体は使います。

——恵まれていますね。

高橋 社長が福祉に対し理解があるので、腎不全の頃休職一年しましたが、会社をやめませんでした。平成四（一九九二）年には業界の連盟から優良従業員の表彰を受けることができ、副賞のカフスポタンをもらいました。

——趣味をたくさんお持ちだそ

うですが。

高橋 バイクと車が趣味ですが城の写真も六カ所くらい廻って写しています。でも、僕の写真の本命は大相撲なんですよ。この頃チケットが買えないので、写せないのですよ。

——それは残念ですね。バイクは危険ではないですか。

高橋 十八年ぶりに乗り始めた

のですよ。先生には転倒が危いとは反対されました。一回転倒しましたが、怪我はしませんでした。ツーリングクラブの役員をやっています。写真係りです。

女性にも積極的に

——結婚などはどうお考えですか。

高橋 チャンスが あつたら、ナ



会津若松市・鶴ヶ城（撮影・高橋伊知郎）

バイクと車が趣味で城の 写真も六カ所廻って撮影

ースの方と結婚したいですね。透析になって自分に素直になり、物事に対し積極的になりました。何年生きられるかわからないが、できる内に何でもやってみたいですね。

女性に対してはいかがですか。

高橋 自分のベッドの隣のベッドが空いていて、その隣のベッドに女の人がいると、隣のベッドに腰かけて話しかけるので、院長に叱られるんですよ。ナースにも姓でなく名前で「ちゃんづけ」で呼ぶから、それもおこられるんです。

何事も明るく

——面白い方ですね。透析中はその他、何かしていますか。

高橋 透析しながら、プラモデルを組み立てたりしています。穿孔部分が腕の上の方なので、できるのですよ。

——透析の管理もうまくいっているようですね。

高橋 中一日で三回ぐらいふやしてしましますが、終了するとすぐ起きられます。リンは高いですが、ヘマトもまあまあですし、心胸比は四八ぐらいです。半分は外食で、母が近所に住んでいるので、あと半分は食事を作ってくれるので助かります。

血圧も開始が上、一三五ぐらいで途中で一五〇ぐらいになって、終る頃はまた一三〇ぐらいになるので心配ありません。

——将来は何かやりたいことはありますか。

高橋 明るく前向きにやりたいですね。若い人で社会復帰してない人がいるけれど、歯がゆい思いがします。今、病院では六十人ぐらい透析しています。病院としてはあまり好んでいないようですが、患者会をそのうちにと考えています。

病院にとっても、ためになる患者会じゃないとね。仲間をつつてやってみたいですね。

——今日はゲーム大会でお疲れのところ、ありがとうございました。

本当に何事も積極的で心の支えになるものを持っていられる人間は強くなれるものだという事を感じました。これからも明るく、楽しく女性にも迫って、生きいきとした人生を送って下さい。

でも、あまり無茶はしないで少し、周囲に気を使って、患者会作りにも気配りをお願いします。

(文 木村)

(写真・高橋作品・東野)



私の雑記帳

20kmを三日間歩く

毎年十一月に埼玉県東松山市で開催されるスリーデーマーチ。三日間で延べ七万人余が参加する国際ウォーキング大会。「楽しみながら歩けば、風の色が見えてくる」が合言葉になっている。一昨年は20kmを二日間歩いたが、昨年は20kmを三日間歩いて見事完歩した。

街の中の商店街、交通の激しい道路、田んぼの畦道や畑、林の中を多くの人たちと一緒に歩いて歩く、ただそれだけのことなのになぜが口では言えないが魅力がある。健康だからできるということかも知れないな、と思った。雨が降って一日中冷たい中を歩いたこ

ともあったが、振り返ってみれば楽しい思い出の一コマとなっている。

熱海のMOA美術館へ

新しい年が明けた。今年一年も元気が過ごせますように、と初詣で折るのだった。

正月は、田舎の年老いた母親を連れて熱海に行った。美術館好きな私は、母親が興味あるなしに関係なく、MOA美術館へ行くことを思いだして連れて行った。

新幹線の熱海駅を降りるとタクシーに乗り、駅のすぐ裏にある美術館へ。入場口から幾つものエスカレーターを乗り継いでやっと展示室入口に辿り着く。途中にある円形ホールは、最新のハイテクを

駆使して音と光の芸術を楽しませてくれた。入場口から展示室入口までボランティアの人が案内をしてくれて、説明してくれたので、MOA美術館の概要が改めて理解できた。能楽堂、黄金（きん）の茶室も一見の価値があった。展示室を見終わった後は、「王と王妃」の彫刻のあるムア広場に出ると、太平洋が一望のもとに眺められた。目の前には初島が見えた。遠く大島も見えるところだが、この日は少し雲があり見えなかった。

足を少し引きずるようにして歩くと母親を見て、人間誰でも歳をとれば身体も不自由になるんだなと思った。体がちよつとでも不自由になると、生活も不自由になる

と痛感したのは年末のことだった。忘れられない忘年会

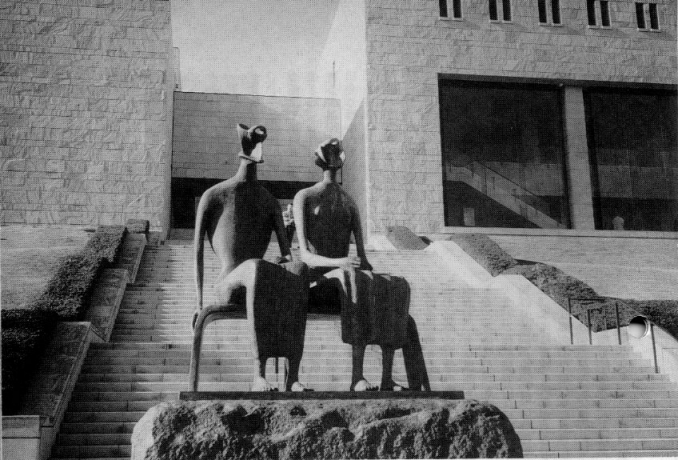
忘れられない忘年会

忘年会でそんなに飲み過ぎた訳でもないのに、家まで辿り着いた所まではよかったのだが、ドアを開けようと鍵を差し込んだが、ドアは落としてしまった。あわてて拾おうとしたらすてんところんでしまったのである。大地と見事にキスした途端、メガネが外れてしまった。

翌日、起きたらメガネが壊れているのがわかり、やむを得ず職場を半日休んで修理してもらった。たかがメガネひとつのことでも何もできないで半日時間を無駄にしましたのである。職場の人からは「茂さんでも、馬鹿なことをするんだね」と笑われてしまった。忙しい年末に、私にとっては笑うに笑われないできごとだった。

忘年会といえは、東腎協の常任幹事忘年会にも誘われたので参加してみた。「94をぶつ飛ばせ」と題した忘年会は、十二月十一日、港区芝公園にある郵便貯蓄会館メロパークで午後六時から開始された。一年間で草間、本間、中田の

●大地とキスした途端メガネが外れ壊れて、気がついたのは翌日…



熱海・MOA美術館のムア広場（撮影・加藤）

各氏、医療面では包括化の実施、患者を震撼させた劇症肝炎問題などあったが、何事も敵肅に受けとめ、来年に飛躍しようというもので、会費は七千円だった。

会長挨拶やそれぞれが一言発言し、ゲームとなった。竹田会長や森事務局長らが馬となつて、枠番（1から6まで）を決め、大きなサイコロを振り、枠番の数によってひとつずつ前に進める。ゴールとなつたら、前もつて何枠の人が勝つかを紙に書いておいて当たった人に賞品を出すゲームが面白かった。私は、「東腎協」編集委員の井上さんや金子さんに賭けたのに二人とも無残にも敗退してしまつたのである（残念！）。

カラオケもあり、最後には全員合唱で幕を閉じた。全員合唱は、「浪速節だよ人生は」の替え歌で「透析だよ人生は」。編詞は、桜井清司（松和患者会西新宿支部）、堀和正（東腎協常任幹事）の両氏である。

歌詞を紹介しよう。

一、体重増えれば 飲むなといわれ

へマト下がれば 食べろといわれ

飲みたいつらさも 運命（さだめ）と耐えて

いつも笑顔で 生きて行く
透析だよ おいらの

二、生きてく苦勞を 身体で悟り
生命の尊さ しみじみ知つた
弱気になつたら 病気に勝てぬ

強気に信じて 生き抜こう
透析だよ おいらの

三、設備少なく お金も無くて
命おとした 時代も過ぎた
今は安心 二十歳（はたち）も越えて

ますます発展 東腎協
透析だよ おいらの

おいらの 人生は

常任幹事の人たちは、とにかく頑張っている。忘年会も常任幹事を終えて夜に催したのだった。新しい年になって、特に一人ひとりが抱負を胸に意気込みも新たに燃えている。皆さんも大いに期待して欲しい。

一九九五年 冬
（「東腎協」編集委員）

東難連体験交流会 で発表

常任幹事 久保 正業



十一月五日、東京都障害者福祉会館にて東難連の体験交流会が開催され、それに出席しました。交流会の進行は東腎協の堀副会長の司会で終わりました。

午前中は、日野市の愛燐会でご活躍の木下安子先生がスライドを使って、福祉活動の現状を紹介しながら「在宅ケア」のことについて

てお話しください、難病の苦しみや行政の現状についてよくわかりました。

午後からは、三団体の代表が体験発表を行い、その他、出席団体からもそれぞれの難病の説明と運動の現状について話していただきました。

私は体験発表するような体験はなかったのですが、これまでの透析に至る経過や透析導入後の生活、患者会との関わりをお話ししました。その後のMSやALSの話、腎臓病が医療・福祉・生活の面でどんなに恵まれているかあらためて認識しました。特にALSの人の話には涙を誘われました。こういう他の難病の人の話を聞くことによって、過去の運動の苦労や成果を心に刻むことができると同時に、他の難病の団体との協力も、より推進する事が重要であることに気がつきます。

また、体験発表のない団体の病気の内容にも興味がかまれました。本当に奇妙な病気があるもので、直接命にかかわらなくても日常生活のケアが大変なものも、精神的に苦痛を伴うものもありました。この度は交流といっても勉強

会が主なので他の方々と直接語り合う機会がなかったのですが、私たちの団体の中だけではなく、他団体の悩みを聴く等の親睦を通して互いに分かり合い励まし合っていくことが、私たち自身の權ともなり運動の推進にも役立つことと思います。

腎臓病の医療相談

東難連主催・16名受診

十月二十二日、飯田橋セントラルプラザ十階において腎臓病医療相談が、東京医科大学病院腎臓科の三先生と腎臓小児科の先生一名、予診担当ケースワーカー五名、看護婦一名で行われました。

私自身初めての役目でしたのでいい勉強になりました。

相談者十六名で、東難連会長いわく「例年より少ないが、東腎協は色々な行事で充実しているから」ということでした。東難連の他の相談会は参加申込みを検討するのにも大変のようです。

腎臓病医療相談申込みも東京都公報、テレビ・ラジオ等で流したのですが、相談者が増えませんでした。小児の申込みも宣伝したの



事前に予診を受けてから相談

ですが、十八歳の女子が最低年齢でした。ここでも高齢者が年々多くみられるようになったと関係者はいいます。

今回の相談者の悩みは一樣に外来での医師の説明不足がめだち、また、透析前の食事療法、栄養面での相談及び栄養士の説明会を持ちたいとのことでした。

私たちが透析患者は、全腎協の無料相談が開かれています、この人たちのためにもっとPRができないものかと思えます。東腎協でも医療相談を行っているのもっと利用してもらいたい。

最近、特に使われる言葉に、クオリティー・オブ・ライフとインフォームド・コンセントの言葉だけ先行して医師の診断は何分と少

東腎協 活動のほど

ない。これどうなっているの、患者も遠慮しないで納得するまで説明してもらったらと、今回の私の感想でした。(北爪 勇)

第36回関東ブロック

会議を東京で開催

十二月三日・四日の両日、東京の中野サンプラザで関東ブロック会議を開催しました。

このブロック会議は、年二回開催され、一回は東京で開催することが会議で確認されています。

参加者は、関東九都県の役員、全腎協より小関副会長、オプザーパーとして神奈川県腎友会より三名、合計五十一名の出席がありました。会議は、東腎協竹田会長の挨拶で始まり、

報告事項では、一ノ浦ブロック代表から全腎協活動報告があり、診療報酬の一部包括化による影響調査、入院給食の一部有料化による影響、臓器移植法案成立のための運動、糖尿病性腎症からの透析導入患者の障害等級認定基準の見直し、有料道路の障害者割引の内部障害者への拡大などについて報告がありました。

討議事項の中では、全腎協小関副会長より診療報酬の一部包括化による影響調査の具体的な報告と、十月に行われた診療報酬の改定による、今後の入院患者の看護体制など問題点について説明がありました。

東京でおきた劇症肝炎による死亡事故については、事故の起きた透析施設の腎友会会長ということ、東腎協糸賀副会長から経過と今後の対応について報告がありました。

また、神奈川県腎友会石川副会長より四役会議で全腎協復帰を検討中であり、今後理事会、総会で検討していくと報告がありました。

その他に、入院患者の組織化、透析患者の終末期対応、女性活動家の役割についてなど熱心な討議が行われました。

次の関東ブロック会議を来年度七月一日・二日に茨城県で、青年交流集会を来年度九月二日・三日に群馬県で開催することを確認し、二日間のブロック会議を終了しました。

(金子)

劇症肝炎の集団発生

で都に原因究明要請

— B型肝炎ウイルスによる劇症肝炎で四人死亡 —

九月から十月にかけて、松和会西新宿診療所で発生したこれらの集団感染は、透析患者に大きな衝撃となつて伝わった。東腎協は、全腎協、松和会・東京ブロック患者会、松和患者会と共に、十月十二日、「肝炎患者の死亡事件の早期解明と人工透析治療の保障についての要望書」を、各関係機関に提出した。その中で、一日も早く感染源と感染経路の究明を強く求めてきた。

—「東京都劇症肝炎調査班」設置—

十月六日、調査班が設置され、翌十月七日には、西新宿診療所を視察した。一医療機関で起きた診療問題で都がこうした対応をするのは「極めて異例」のことだ。

—「院内感染である可能性が高い」とする飯野班長コメント—
十一月十五日、調査班の飯野班長よりコメントが出された。その中で、① B型肝炎発症者五名全員

から、変異株 B 型肝炎ウイルスが確認された。また、複数存在するキャリアの中にも同様の変異株が確認された。② 院内感染である可能性が高いため、B 型肝炎ウイルス感染予防の徹底を再指示する。感染経路は、引き続き調査中である。

③ B 型肝炎医療機関内感染対策ガイドライン等に準じた現在の医療水準の透析療法を行う限りにおいては、近年 B 型肝炎ウイルス感染が透析行為によつて起こることは考えがたい。今回のことは非常に特異な事態であつたと考えられる。と述べている。

—再発防止のため感染予防対策の徹底を訴える—

十一月二十四日、前述の四者と松和会本部、西新宿診療所との話し合いが持たれた。その中で、「感染経路がはっきりしないのでは、毎日が不安である。」と再発防止を強く訴えた。その結果、西新宿診療所稲田院長より「今後、感染予防に万全を期し、たゆまざる努力を継続したい。」旨のコメントが出された。

東腎協は、今回の事件を教訓に感染予防対策の話し合いを各患者会によびかけている。(糸賀)

広がれ、善意の声

腎臓および角膜移植推進キャンペーンの結果

	上野	小金井	合計
参加者数	132人	90人	222人
参加患者会数	27会	22会	49会
医療相談受診者	13人	5人	18人
血圧測定	407人	61人	468人
腎提供登録者数	59人	40人	99人
献腎登録書持ち帰り	80人	-	80人

59人が腎提供登録者に

上野は132人が参加

晴れやかな秋空が広がる上野公園で今年も十月二十三日に、腎臓移植と角膜移植のキャンペーンが開催されました。

朝早くから、東京都の職員が会場の設置など指示して働き、東腎協の仲間と協力し、チラシヤ記念品の袋詰に活躍しました。ライオンズクラブの方々も協力を惜しま

ずがなばっていただきました。

森事務局長がシャント・トラブルのため参加できなかったこともあり、皆、緊張して行動しました。竹田会長は上野は初めてですが、

気軽に会員に声をかけ、あちこちと気配りをしていました。

チラシ配布も順調にすみ、アトラクションは、一部の熱狂的ファンに受けるものでなく、公園をそぞろ歩く人々の誰もが、足を停めなくなる多様なプログラムで、キャンペーンの意義を高める松村さんの司会のもと、楽しく進行しま

40人が腎提供登録者に

小金井は90人が参加

十月二十三日（日）今年初めての素晴らしい秋晴れの天気恵まれ、腎臓及び角膜移植推進キャンペーンは、小金井市の市民祭りが開催されている小金井公園の一画、なかよし広場で東腎協会員の

協力により、盛大に催されました。昨年多摩ブロックでは、小金井と八王子の二カ所の会場でキャンペーンを行いました。今年も小金井の会場一カ所にしほり、みんなの力を結集しました。

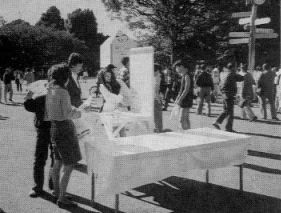
した。

腎移植普及会の登録にも五十九人の登録者があり、カード持ち帰りは八十人に上りました。

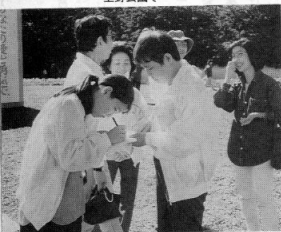
また血圧測定は、上野病院と森山病院のナースの方の協力で四百七人も人が訪れました。

医療相談は虎の門病院の山田明先生にご助力いただき、丁寧なご回答をいただき皆感謝していただきました。また眼科の相談も盛況で担当の先生方は多忙を極めました。秋の入り日が赤々とテントを染める頃、汗をふきつつ終了しました。

（木村）



上野公園で



小金井公園で

午前中、みんなに配布するパンフレットや粗品の袋つめの為に、各会役員中心に約四十人の会員が集まり、和気あいあい用意万端の中、食事後、ただちに市民祭りの人の中で、配布が始まりました。会場でのステージではイベントが始まり、司会者の紹介により主催者の東京都衛生局福祉部の吉村課長の挨拶があり、次に東京都眼科医会長の濱崎医師の挨拶があり、最後に我らの代表、東腎協糸賀副会長の挨拶と主旨説明があり、華やかなステージに移りました。

今年のステージのプログラムは、音楽と腎臓・角膜移植取材の旅へと題してテイクオフし、フランスのシャンソン、ザイルのア

フリカン音楽、アメリカのアメリカンカンダンス、最後に日本に戻りハルモニオアラスによるマーチ演奏、フィナーレは主演者全員ステージに上がり、盛り上がりました。特にフランスのシャンソンとコメディは人々を強く引き付け、みんなが一体になり、時間を忘れてステージの前に腰を降ろし楽しんでいました。

キャンペーンの結果は別表に掲載されていますが、特に腎提供登録者数は去年六人に比べ飛躍して伸び、これは一般市民の認識が高まった為で、地道な毎年のキャンペーンの積み重ねが、実を結んだ成果だと思いました。(東野)

またたく間に配布終る

上野しのばず会

鈴木 澄子

十月二十三日、秋晴れのキャンペーン日である。美術館や動物園に向う親子、家族連れを横目に会場へと急ぐ。会員のみなさんは早い。今や遅しと袋話待っていた。流れ作業で記念品とパンフレットの袋詰めがまたたくまに山と化した。しのばず会の患者さんも十人お手伝いに来てくれた。上野病院からも毎年看護婦さんが、血圧測定のお手伝いに参加して下さりありがたいことである。

都の衛生課長さん、東腎協の会長さんの挨拶の後、いよいよ配布である。両手に一杯の袋を抱え三々五々と散っていく。お天気もよく人出が多かったこともあって「お願いします」の声にまたく間に、三千個の配布が終わってしまった。自分の健康を気づかう人達が血圧測定や相談窓口にしきも切らずに集まってくる。秋の上野の山にふさわしくバンド演奏はシャンソンを流してくれていたのが心地よかった。

年間を通しての運動に

あけぼのクリニック友の会

石田 文代

十月二十三日、小金井公園にて、東京都医師会、眼科医、東腎協の腎臓及び角膜移植推進キャンペーンが行われました。私達あけぼのクリニック友の会のメンバー七人は、キャンペーンに少しでもお手伝い出来ればと思ひ、皆さんはりきって出かけました。

小金井公園の広さに皆、驚いてしまいました。市民祭とも重なり、ヤキンバ、焼とり屋等いろいろなお店が出て、すっかりお祭り気分になってしまいました。

オープニングマーチの演奏とともに主催者の挨拶がはじまり、皆、献腎とアイバンク登録のパンフレットと粗品を入れた袋を両手に一杯持って協力を呼びかけながら袋を渡して歩きました。山のようにあったキャンペーンの袋もスムーズに配れたと思います。

会場の方からは、リズムカルな音楽が流れはじめ、ダンサーの方たちが踊りだすと皆、集まってきます。ますます盛り上がりました。遠くの方で、メガホンを口にあて腎

バンクを呼びかけていた役員の方ほとんどに苦勞さまでした。

腎キャンペーンの期間だけでなく、一年を通して腎臓提供やアイバンクの推進をしたらいかがでしょうか。

頑張つて一日楽しく過ごす

立川相互腎クリニック希望会

寺田美智子

私がこの病気になる前は、十六歳のときです。風邪を引いて熱が高く顔もむくんで来たので、病院に行き、直ぐ入院するようにいわれ、これが私の病気の始まりです。一年近く入院しましたが、慢性に進行してしまいました。

十九歳と二十三歳の時に子供を出産しましたが、最初の子の時は、腎臓が悪いため大変な思いで出産し、その子供もいまは三十四歳と三十歳になり、それぞれ家庭を持つて元気でいます。

三十三歳ごろから身体に変化が出てきたので病院に行った折、腎臓が悪くなっているといわれ、何か月かに一度くらい血液の検査などとして、透析になる日まで頑張ってきました。

その間パートとして二十年間、

働いて楽しいときもありました。

一年一年検査の結果が悪くなるのが目に見えて、ついに三十四年間この病気を抱えながら生きてきましたが、ついに透析になってしまいました。

最初の一年間は、毎日が虚しく悲しく、泣いてばかりでした。二年目に入って病院の人たちにもなれ、生きる希望が出てきました。

いろいろな人間関係もあります。いろいろ人間関係もありますが、その中、良い人たちに恵まれて楽しい病院通いをしております。病院側、東腎協と年間を通して行事がありますので、なるべく参加しています。

先日、もキャンペーンに参加して来ました。朝から良く晴れて、公園内はお店でもて人々も多く来てました。午前中は袋つくりをし、午後からはパンフレット配りでした。何人の人達が、腎臓移植に少しでも理解を示してくればと折り、頑張つて一日楽しく過ごしてきました。

東腎協は患者さん達の会です。皆さんも参加してみたいかがですか。

血圧測定に参加して思う事

立川相互クリニック

看護婦 長野久子

十月二十三日(日)快晴。この日は小金井公園まつりで、大勢の人が集まっていました。このような集会に参加したのは初めてでしたので、率直な意見や感想を書きたいと思います。

「病院を出ると普通の人」とはよく聞きますが、集まっている人は容姿、明るさ、表情、活動力などみても、健康人とほとんど変わらないと感心しました。

みなさんのようになるにはどのような考え方や苦勞をされているのか関心がかたまりました。機会があったら私かかせて下さい。

現在、私たちのかかえる大きな問題として、透析導入から維持期へ移行する患者さんが透析を受容できず、毎日がイヤダ、イヤダ、生活にも意欲がなく仕事も手につかない。眼、手足の不自由ということでも再就職する気もない。他人と会って話しをするのもイヤダ、気がのらない。ただ自宅と病院の往復で一日が終わる。ア、イヤ

と訴える患者さんもいます。

このような患者さんにどうしたらよいか、頭をひねっています。

今回の集会に参加して、いい案が浮かびました。透析を受容して健康人と変わらない生活を送っている方々は旅行や、患者会などでも積極的に参加されていますが、ほとんど同じ方で、活発で元気な人の元氣な人は、いつでも、どこでも、だれとでも行動できるので、患者会主催は、透析に慣れない人、維持期への移行時期、受容してない人も、積極的に誘ってもらえたらと思います。

また、細かいことで悩んでいる方もいるとおもいます。私たちも努力しますが、透析の先陣としてアドバイスして、よりよい透析生活が送れるように、援助してもらえたらいいなあと思いました。

話は変わって、私は人前で血圧測定してアドバイスするのは初めてだったので、とても緊張しました。理由として周りの人にみられているという気持と、血圧の値が大きく違っていたらどうしようなどと考えていましたら、同席された小林主任に、上手にヘルプしてもらい、ずいぶん助かりました。

東腎協会員交流会は大運動会を開催

みんな童心で夢中に

東腎協会員交流会は昨年十一月二十日、東京都障害者総合スポーツセンター（北区十条）に於いて行われました。

今回は、二十周年記念で好評だった「大ゲーム大会」で会員の皆さんの交流を図りたいと企画しました。

参加者も前回と同じくらいの人以上を予定してプログラムなどを作りましたが、いざ募集を始めてみると締切日近くになっても十数人しか申込みがなく、開催自体

が危ぶまれる状況でした。

しかし、開催日直前まで常任幹事などが勧誘して、ようやく当日は二十九患者会から、八十人の患者と家族が集まり開催となりました。

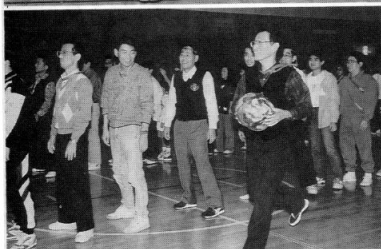
竹田会長の挨拶の後、ラジオ体操をしましたが普段、身体を動かすことが少ないとみえて、もう息を荒げてゼイゼイしている人も少なくありませんでした。

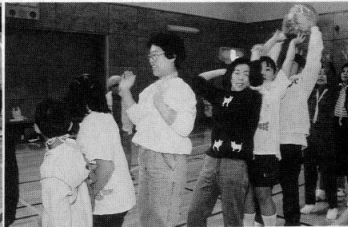
しかしいざゲームとなると、こちらの心配をよそにパン食い競走

など、ゴールを目指す姿はこれが透析患者かと思わせるほどのハリキリようでした。また、玉入れ競技では、童心に帰って大変楽しかったとの声も聞かれました。

しかし一方で参加者数が示すように、患者の交流会としては適当であったのかどうか、今後の課題としていろいろ考えさせられた一日でした。

（軽部）





見ている人たちもゲームをしている人たちもみな生きいきと

大ゲーム大会の 企画を担当して

上野しのばず会

村田 茂

昨年五月、青年部役員会を開催した時に、今回、東腎協会交流会は、青年部で行つてはと、草間事務局次長と堀副会長の申し出があつたので青年部役員と話し合い青年部主催で交流会を行うことになりました。

もちろん青年部だけでは、何も出来ないのので常任幹事にも手助けしてもらつたというところで、またいつも青年部主催の交流会を七月十日に五日市十里木ランドでパーベキュー会を行いました。

八月九日に草間事務局次長の急死により私達青年部は、大きな柱を失つたようで皆さんもそう思ったのではないかと思います。そして、九月十八日、東腎協幹事会終了後に青年部役員会を開き大ゲーム大会の実行委員を発足しました。

それから三回の打ち合せ会を行ない、草間さんが居なくなつたことがこんなに大きなことだったとは

思いませんでした。発送、連絡、計画表、景品、ゲーム内容等いろいろ役割分担をしなければならず、何回も話し合いました。谷地幹事がゲームまとめ表を何回も作ってくれたので私達は、打ち合せ進行にとでも助かりました。

当日、東京都障害者総合スポーツセンター体育館にて、大ゲーム大会を開催。みなさん健康人と同じようにハリキリ、最後、玉送りゲームは、勝敗が付けられず「赤・黄」に別れた団体ゲームであつたが引分けということで終わりました。終了後、私達実行委員はゲーム大会を成功させて安堵し、満足しました。実行委員、役員のみさんお疲れさまでした。

仲間の人達の

フアイトに驚く

あけぼの友の会

阿部 和顕

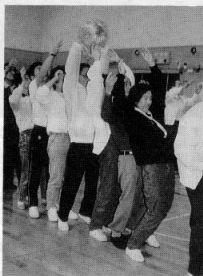
十一月二十日、十条にある身体障害者スポーツセンターで東腎協主催のゲーム大会があるのでも出て行った。会場に着くと車椅子に乗った人達が大量居たのでこの人達とゲーム大会を行うのかと思



思わず力が入って



竹田会長から賞品が手渡された



っていた。室内体育館に行つて見ると車椅子の人は一人の姿も無くみんな元気一杯の子供達や中高年の男女の人達ばかりであった。まるで普通の人の運動会の様に思われた。一人一人の顔は楽しそうであり元気が満ちあふれているのに驚いた。

振り返つて見ると、こんなスポーツ大会に出席するのは学生時代以来四十年振りのことであつたので少々胸がどきどきして来た。ゲームが始まり、サッカーの球けり競技である。自分ではボールの中、目がけてつけた積りであつたが、横へ飛んで行つてしまつて失敗である。次は、ピンポン玉運び競走である。「うちわ」の上にピンポン球を乗せてゴールまで落さない様に走る競技であつた。が、ゴール近く迄は良かったが、球が落ちてしまつて失格である。なかなかわずかしいゲームであつた。次は紅白の球を二m五十cm位の高さの籠に玉を入れるゲームだ。夢中に投げ入れたが、なかなか入らない。やっと一個入つた時は、嬉しさが湧いて来た。

次は、パン食い競走であつた。パンを口に上手にくわえてゴール迄走つた人も居たが、自分はパンを床に落としてしまった。手を使うことが禁止されているので口にくわえるのに時間がかかり大変であつた。ゴールに入つたが、一番最後でもあつた。次は綱引きである。紅白に別れて三回戦闘っているのである。自分では力一杯張りついでる積りなのに腰が浮いて力が発揮出来ず一対一の末、紅組に負けてしまつたので残念であつた。久しぶりに綱引き等やつたので次の日、手足腰などが痛く自分の力の限界をしみじみ感じたが、透析しながらもまだまだ力が出せるものであるということが判つたので少し嬉しかった。同時に仲間の人達のフアイトあるのに驚いた。自分なりにもっと身体を鍛えなければならぬと痛感した。

また数多くの同志の人達に会い、元気な姿を見て楽しい一日であつた。東腎協会長始め役員の皆様方が私達のために、この様な大会を開催して下さい、久し振りに重心に帰つた気持ちでした。

役員の皆様方の御努力に対して感謝の気持ちとお礼の気持ちで一杯です。本当にありがとうございます。

私のふるさと

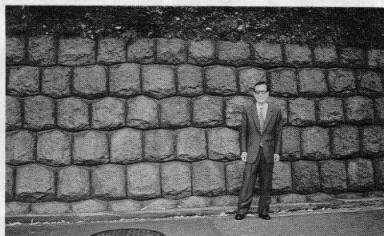
⑫

東京市麻布区市兵衛町

イチベエチヨウ



尾形クリニツク 白神 慶生



旧三井邸・昔のままの石垣の前で

そこは江戸時代初期、森あり台地あり谷あり、崖からは清水がしたり、所々に湧水もあり、川となって、江戸湾に注ぐ土地柄であった。江戸詰めの大名達が、この自然環境に目をつけ、別荘地と化した。江戸末期には寺院もでき始め、店家も、でき始めている。江戸地域の外国公館第一号がアメリカ公使館として、麻布山善福寺内に置かれた歴史の経緯もあり、明治以降アメリカ人の多いところでもある。明治から大正時代には華族町と呼ばれ、昭和時代にはお屋敷町と呼ばれた所である。

市兵衛町では、例えば美術評論家の柳宗悦（父は海軍少将後に貴族院議員）が五二〇坪の土地で青少年時代を過ごした。同時代その友人の志賀直哉は、隣町の三河台町で一六〇坪の父の屋敷に住んでいた。時代は下って永井荷風が市兵衛町に住み、同時に隣町には小泉信三が、また山本五十六が別の隣町に居た。二皇族や侯爵子爵の大邸宅もあった。私が子供の頃、町には今では想像できない原っぱや空地もあり、昆虫は沢山居り、三角ペーシの少年野球もできた。父と散歩する時は三井さんのお邸（門には巡査が常駐し、家は遠く森の中で見えなかった）のかたわらを通って赤坂氷川神社に行くことが多かった。時には別方向の坂を下って有栖川宮記念公園に行った。この途中には清水が湧き出している処や、崖からしたり落ちている所で水を飲んだ。公園でも湧水が澄んだ小川を作っていた。

冒険と称して友人等と遠出する処は、鉄砲山・芝公園・明治神宮外苑であった。当時芝公園は、自然の起伏をそのまま活かした林も小川もある庭園で、戦争ゴッコには最適の環境であった。鉄砲山は陸軍麻布第三聯隊と通称する部隊の練兵場であった。殆ど樹木の無い広漠とした空間で、凧を揚げるにも広過ぎるくらいだった。明治神宮外苑へは自転車で行く一番の遠出であった。絵画館も美しく前庭は非常に広闊で、今の野球場など無かった。

麻布は坂の街でもあり、石垣の町でもある。南部坂は忠臣蔵でも有名であり、永坂町・鳥居坂町・谷町・南山など地形をよく表わしている。

この町もあの街も昭和二十年の大空襲で焼失し、住民の多くは戦後のインフレや財産税の支払いで、土地を失い、追放という激変で斜陽族となって四散し、様相は全く変わってしまった。小学校の同級生男子五十人中戦死したのは皆無であるが、今も同地に住んでいるのは僅かに一人のみである。仲の良い数人で毎月集って食事を共にし、時には旅行にも出かけている。同期生のY君は、透析をしており、横浜に彼のすまいのすぐ近くに偶然私の娘が家を構えている。

わがふるさととの現在の町名はいづかか？それは無い。唯思い出の中、夢の中にあるのみである!!

事務局から

第34回幹事会開きます

第34回幹事会を開催しますので幹事の皆さんは、積極的にご参加をお願いいたします。第23回総会の議案の討議を行います。

とき 2月26日(日)
場所 中野サンブラザ

13時15分～16時45分

東腎協第23回総会に

ご参加下さい

第23回総会を開催します。会員の皆さんは、積極的にご参加をお願いします。

とき 4月9日(日)
場所 外山サンライズ

10時30分～15時30分

(地下鉄東西線早稲田駅下車8分)

平成6年度

国会請願署名集計中

平成6年度全腎協と日患協署名を集計中ですが、まだ事務局へお寄せいただいていない患者会、個

人会員の方は、至急事務局へお届下さい。

新入会員紹介

— よろしく —

大澤富雄・摩尼克彦・中込篤・古川正男・島田修・山本貞子・竹沢フサ・深野利治・前田茂・浅山英雄・相川起康・荒殿秋信・鹿取清・森とよ子・巖淵正一・宮川忠義・松本功・細田幹夫・島雪江
武蔵境駅前クリニック腎友会
〒180 武蔵野市境南町2-1-31-16
武蔵境駅前クリニック内

訂正

前号(No116)9頁の写真説明で中田青政さん→中田青攻さんに、見出しの本間常任理事→本間常任幹事に訂正します。

〈編集後記〉

文字サイズを一回り大きく読みやすくし、レイアウトも変更しました。患者にとっては、引き続き厳しい年になると思いますが、「東腎協」編集部一同、今までの草間さんの奮闘以上に頑張って機関紙を作っていく決意です。応援して下さい。(加藤)

勢揃い! キッセイの健康ラインナップ

リン・カリウム・たん白質を少なくした
成分調整そば

びたそば

リン・カリウム・たん白質を従来のそばの1/5~1/8に調整しました。味にこだわった信州そばです。

成分調整うどん

びたうどん

たん白質は市販のうどんの40%。リン・カリウムもさらに少なくなりました。

成分調整つゆの素 [6倍希釈]

びたつゆ

ナトリウム・カリウム・リンが控えて、安心してご使用いただけるつゆの素です。

エネルギーとカルシウムを手軽に摂取
エネルギー補給ゼリー

アガロシー-100

1食で100kcalのエネルギーと100mgのカルシウムが補給できる、さっぱり味のゼリーです。

ひと粒が1.5gの食物繊維を含む
食物繊維入りあめ

とおりあめ

1粒で1.5gの食物繊維。さっぱりした飽きの来ない味でのどを潤かします。

お問い合わせ・お申し込みは



キッセイ薬品工業株式会社
ヘルスクエア事業部

長野県松本市芳野19番48号

☎ 0120-753-666 FAX 0263-28-5208

■または、最寄りの治療食取り扱い店へどうぞ。

MEIJI

明治乳業

「食療館」を、ご家庭に 直接お届けいたします。

お、これなら
続けられそうだ。



リンやカリウムの制限が必要で、
エネルギーが不足がちの方々に。
おいしく飲みやすい
液状調整栄養食品 **リーナレン**

ミネラル、たん白質の摂取を控えめにしたい方のための、
発酵乳をベースとした、手軽で飲みやすい高エネルギーの
缶入り調整栄養ドリンクです。食事制限で不足しがちな
エネルギーを、いつでも、手軽に摂取することができます。
カルシウム、ビタミン類、β-カロチンも加えています。
●エネルギーは、1ml当り1.5kcalと高エネルギーです。

リーナレンの試供品を無料進呈いたします。

電話もしくはハガキで
お申し込みください。

試品のお申し込み、商品のご購入のお問合せは下記のフリーダイヤルへ。

0120-888-157

(通話料無料) 受付時間10:00~20:00(日曜・祝日は除く)

おハガキでの試品のお申し込みは下記の要領で

①試品希望と明記し、①お名前(フリガナ) ②生年月日
③性別 ④ご住所(フリガナ) ⑤電話番号をご記入の上、
下記までお申し込みください。
〒130 東京都墨田区錦1丁目26番11号 明治ビル7階
明治乳業株式会社 食療館係

株式会社 明治乳業

NUTRACEUTICAL FOODS

食療館